【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第４区分
【発行日】平成26年7月17日(2014.7.17)

【公表番号】特表2013-540062(P2013-540062A)
【公表日】平成25年10月31日(2013.10.31)
【年通号数】公開・登録公報2013-060
【出願番号】特願2013-530653(P2013-530653)
【国際特許分類】
Ｂ４１Ｎ　10/02　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｂ４１Ｎ　10/02

【手続補正書】
【提出日】平成26年5月27日(2014.5.27)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
２つの平行の側縁部を有する印刷ブランケット（４）と、該印刷ブラケット（４）が外側周面（１２）に対向した内側周面によって配置された、寸法的に安定した支持板（２）とを有する輪転印刷機の印刷ブランケット胴用の印刷ブランケットユニット（１）であって、前記２つの平行の側縁部が前記印刷ブランケット（４）の軸方向に延在し、互いに反対側に位置し、かつ前記印刷ブランケット胴の回転に対して、前記２つの平行の側縁部の内の一方が前部側縁部（８）を形成し、他方が後部側縁部（１０）を形成する、印刷ブランケットユニット（１）において、
前記印刷ブランケット（４）の前記外側周面（１２）が、前記印刷ブランケット（４）の周方向に延在する少なくとも１つの第１の溝（６）を有し、前記第１の溝の周方向が前記軸方向に対して直角に延在することを特徴とする印刷ブランケットユニット（１）。
【請求項２】
前記少なくとも１つの第１の溝（６）が前記印刷ブランケット（４）の中央領域に配置されることを特徴とする、請求項１に記載の印刷ブランケットユニット（１）。
【請求項３】
前記少なくとも１つの第１の溝（６）が前記前部側縁部（８）から前記後部側縁部（１０）まで延在することを特徴とする、請求項１又は２に記載の印刷ブランケットユニット（１）。
【請求項４】
前記印刷ブランケット（４）の前記外側周面（１２）が、前記印刷ブランケット（４）の軸方向に延在する少なくとも１つの第２の溝（１４）を有することを特徴とする、請求項１～３のいずれか一項に記載の印刷ブランケットユニット（１）。
【請求項５】
前記少なくとも１つの第１の溝（６）が、少なくとも６ｍｍ、好ましくは少なくとも８ｍｍ、特に好ましくは少なくとも１０ｍｍ、及び最大で１５ｍｍ、好ましくは最大で１３ｍｍ、特に好ましくは最大で１２ｍｍの幅を有することを特徴とする、請求項１～４のいずれか一項に記載の印刷ブランケットユニット（１）。
【請求項６】
前記少なくとも１つの第１の溝（６）が、少なくとも０．１ｍｍ、好ましくは少なくと

も０．２ｍｍ、特に好ましくは少なくとも０．４ｍｍ、及び最大で１．０ｍｍ、好ましくは最大で０．７ｍｍ、特に好ましくは最大で０．５の深さを有することを特徴とする、請求項１～５のいずれか一項に記載の印刷ブランケットユニット（１）。

【請求項７】

前記少なくとも１つの第１の溝（６）の上縁（１６）が、前記印刷ブランケット（４）の前記外側周面（１２）への前記溝（６）の移行部において丸くされるか又は傾斜されることを特徴とする、請求項１～６のいずれか一項に記載の印刷ブランケットユニット（１）。

【請求項８】

前記少なくとも１つの第１の溝（６）の下縁（１８）が、溝底部（２０）への前記溝（６）の移行において丸くされることを特徴とする、請求項１～７のいずれか一項に記載の印刷ブランケットユニット（１）。